

道内で実施している不妊治療（先進医療）一覧

医療技術名	技術の概要
子宮内膜刺激術（SEET法）	胚を培養した際の培養液を胚移植の数日前に子宮内に注入して、受精卵の着床に適した環境づくりをする技術
タイムラプス撮像法による 受精卵・胚培養	胚の培養器に内蔵されたカメラで、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影します。画像を確認することで、培養器から取り出すことなく、正確な胚の評価が可能となる技術
子宮内膜擦過術 （子宮内膜スクラッチ）	胚移植を行う予定の前週期に、子宮内膜のスクラッチ（子宮内膜に傷を与える）を行い、翌週期に胚移植を行う技術
ヒアルロン酸を用いた生理学的 精子選択術（PICSi）	成熟した精子にはヒアルロン酸と結合するたんぱく室が出来ます。ヒアルロン酸を含む培地を用いて、成熟精子の選択を行う技術
子宮内膜受容能検査 1 又は 2	子宮内膜を採取し、遺伝子の発現を解析することで内膜組織が着床に適した状態であるのか評価する検査
子宮内細菌叢検査 1 又は 2	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類の組成を判断する検査
強拡大顕微鏡を用いた形態学的 精子選択術（IMSI）	強拡大鏡を用いて、成熟精子の選択を行う技術
二段階胚移植術	先に初期の胚を移植し、後日、継続して培養を行った別の胚（胚盤胞）を移植する技術
膜構造を用いた生理学的精子 選択術	特殊な膜構造を用いて、成熟精子の選択を行う技術

こども家庭庁 妊娠不妊ポータルサイトISSHOを参考に作成